

決意新たに 水のアーチ

1月6日、新春の風物詩でもある消防出初め式が挙行され、今年1年の無火災を願って勇壮な分列行進・はしご登り・一斉放水が披露されました。昨年は全国と富山県下の消防団消防操法大会で、本市の消防力のレベルの高さが証明されました。地域の安全・安心を実現するには、多くの方々の尊い奉仕の精神と献身的な活動、そして強固な団結力と組織力が欠かせません。



(写真：クロスランドおやべ周辺で一斉放水が披露されました)



概要・人事案件等	2	閉会中委員会開催状況	10
審議経過	2	行政視察報告	11
審議議案・議員別賛否状況	3	委員会報告	12
代表・一般質問	4~8	市外からの行政視察	13
傍聴のお知らせ等	8	議長交際費・次回議会日程等	13
議会報告会を開催しました	9	会務報告・編集後記	14

一般会計補正予算・条例改正など

10議案を議決しました

12月4日から18日までの15日間を会期として12月定例会を開会しました。
12月定例会では、市長から平成27年度小矢部市一般会計補正予算、条例制定と条例改正、固定資産評価審査委員会委員の選任同意についてなど10議案が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成26年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案を認定しました。

その他、陳情2件を処理するとともに、議員派遣を可決しました。

◎ 補正予算の概要

議案第52号 平成27年度小矢部市一般会計補正予算(第3号)
補正額 4,020.9万円 累計予算額 144億1,016.9万円

《主な事業》

- 情報管理費 92.9万円
(選挙人名簿システム改修費)
- 市営バス事業費 100万円
(市営バスのラッピング改修費)
- 定住促進対策事業費(定住促進助成金等) 2,600万円
(助成件数の増加)
- 市営土地改良事業費 860万円
(事業認証による増額)
- 商工業振興対策費(まちなか等振興事業費補助金) 358万円
(助成件数の増加)
- スポーツ振興事業費 10万円
(文化スポーツセンターの備品整備)

《債務負担行為の追加》

- 道の駅(道の駅メルヘンおやべ)管理運営費
限度額 6,762.8万円
相手方:協同組合 環境再生機構(平成28~32年度)
- 文化スポーツセンター及び体育施設(津沢運動広場・石動小グラウンド夜間照明施設・石動中グラウンド夜間照明施設)管理運営費
限度額 8,157.3万円
相手方:特定非営利活動法人おやべスポーツクラブ(平成28~32年度)

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課予算情報ページをご覧ください。

12月定例会の 審議経過

(会期15日間)

4日	本会議(提案理由説明)
	全員協議会
7日	議案調査日
8日	議案調査日
9日	議案調査日
10日	議会運営委員会
	本会議(代表・一般質問)
11日	本会議(一般質問)
14日	駅周辺整備特別委員会
	民生文教常任委員会
15日	産業建設常任委員会
	人口対策等特別委員会
16日	総務常任委員会
17日	委員長会議
	議会運営委員会
18日	全員協議会
	本会議(質疑・討論表決他)

人事案件

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任

石尾 博美 氏(小矢部町)



12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	中野	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田	沼田	中西	尾山	砂田	宮西
		留美子	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵	信良	正史	喜次	喜昭	佐作
決算認定	認定第1号 平成26年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号 平成26年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第3号 平成26年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第4号 平成26年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号 平成26年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号 平成26年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号 平成26年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号 平成26年度小矢部市水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第52号 平成27年度小矢部市一般会計補正予算(第3号) (補正予算の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定改廃	議案第53号 小矢部市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定 ・マイナンバー法の規定に基づき、社会保障、地方税又は防災に関する事務を行う際に、市が個人番号を利用することについて必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。 (平成28年1月1日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第54号 小矢部市地域再生法に基づく地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定 ・富山県地域再生計画に基づき、地方活力向上地域に特定業務施設を整備した事業者に対して固定資産税の不均一課税を行うため、条例を制定するもの。 (平成28年1月1日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号 小矢部市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正 ・被用者年金制度の一元化を図るための厚生年金保険法等の一部改正に伴い、地方公務員災害補償法施行令の一部改正が行われたため、条例の一部を改正するもの。 (公布の日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 小矢部市税条例等の一部を改正する条例の一部改正 ・平成27年10月に税と社会保障分野におけるマイナンバー(個人番号・法人番号)の記載方法とその取扱いが変更されたため、同年3月に改正した条例の一部を改正するもの。 (公布の日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号 小矢部市下水道条例の一部改正 ・水質汚濁防止法施行規則の一部改正に伴い、特定事業場から排水されるトリクロロエチレンに係る排水基準が改正されたことから、条例の一部を改正するもの。 (公布の日から施行)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号 小矢部市道の駅(道の駅メルヘンおやべ)の指定管理者の指定について ・指定管理者の名称:協同組合 環境再生機構 ・主たる事務所の所在地:小矢部市内御堂200番2 ・指定期間:平成28年4月1日から平成33年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号 小矢部市ケーブルテレビネットワーク施設の指定管理者の指定について ・指定管理者の名称:とнам衛生通信テレビ株式会社 ・主たる事務所の所在地:南砺市八塚568番地2 ・指定期間:平成28年4月1日から平成33年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号 小矢部市文化スポーツセンター及び小矢部市体育施設(小矢部市津沢運動広場・石動小学校グラウンド夜間照明施設・石動中学校グラウンド夜間照明施設)の指定管理者の指定について ・指定管理者の名称:特定非営利活動法人おやべスポーツクラブ ・主たる事務所の所在地:小矢部市植生字八俣2124番地1 ・指定期間:平成28年4月1日から平成33年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事案件	同意第4号 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任 (人事案件の概要は2ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に
加わりませ
ん

陳情の処理状況

陳情第2号	財政的支援について陳情 陳情者 小矢部市観光協会会長 中嶋秀明	採択
陳情第3号	社会福祉事業に関する陳情 陳情者 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 宇佐見外行	採択



会派「誠流」
藤本 雅明 議員

◎石動駅周辺整備事業・都市再構築戦略事業について

【質問】 第6次総合計画後期実施計画において、石動駅周辺整備事業

(南北自由通路整備、駅南駐車場整備、図書館と駅舎の合築整備、(仮称)石動コミュニケーションプラザ(整備)が計画されている。アウトレットモールの誘致に向けて実施した東部産業団地造成事業に続く大型事業であるが、この事業の今後のスケジュールや総事業費はどのようになっているのか。また、先日行政視察を実施した彦根市では、期成同盟会やまちづくり協議会を設立したり、広報誌を発行するなどして、市民の意見聴取や市民への情報提供を行っていた。図書館と駅舎の合築整備に関しては、あまり情報公開されていないと思う。パース図・平面図等の情報を公開し、理解を得ながら事業を進めるべきだと思うが、市長の見解を問う。また、JR美川駅には交流スペースがあり、カフェも運営されていた。駅周辺に賑わいを創出するにはこのようなスペースが必要だと思うが、市長の見解を問う。

【市長】 都市再構築戦略事業の総事業費は、当初計画では約37億円であったが、南北自由通路や駅施設・図書館の基本設計により、約40億円に増える見込みである。ま

た、図書館については、現在基本設計中であり、整備イメージを示すまでには至っていないが、基本設計が完了し両施設の実施設計を進めていく際には、一体的な合築施設としてパース図や平面図等を作成し、整備計画の全容を説明したいと考えている。また、賑わいづくりの観点から、駅施設1階に観光交流スペース等を設ける予定にしており、観光案内所を設置して観光客への対応を行うほか、休憩や待合、待ち時間の学生の学習や市民の作品展示等に利用できるスペースとして考えている。図書館と駅舎を合築整備することで、駅利用者と図書館利用者の利便性や回遊性が向上し、また来訪者やまちなかへ誘導することで駅周辺の賑わいが創出されるものと考えている。

◎三井アウトレットパーク北陸小矢部の開業5箇月の効果と実績について

【質問】 市長は、アウトレットモールの開業には一石数鳥の効果があらんと何度も発言されていた。アウトレットモールが開業して5箇月

が経過したが、知名度向上や雇用の増加、市内店舗等の飲食購買機会の増加、観光地への来訪者の増加など、効果と実績について、どのように感じているのか。

【市長】 三大都市で開催された企業立地セミナー等における出席者の反応、ゆるキャラ®グランプリでの全国5位入賞、市内各店舗への来店者数の増加、そして各種調査の集計数値を踏まえても、知名度向上や定住人口の増加、雇用創出等の面で想定を上回る効果が着実に現れていると感じている。ただ、中心市街地への誘客に関しては、各種イベントの開催により一定の効果は見られるものの、目に見える形でのまちの賑わいにはもう少し時間がかかると感じている。

◎公共施設等総合管理計画の策定について

【質問】 今後急速に進展する少子化と超高齢社会を考えると、公共施設の耐震化はもちろん、公共施設の数の縮減や既存インフラの長寿命化による有効活用が重要になってくる。次世代に大きな負担を残さないためにも公共施設の統廃合や効率的な管理運営は避けて通れないと思う。今後、公共施設等総合管理計画の策定をどのように進めていくのか。また、小矢部市全体で1学年が200人前後という時代を迎えているが、小中学校の適正規模や適正配置について検討して

いく考えはないのか。また、本庁舎の耐震に関する躯体調査を実施しているが、その調査結果を踏まえて今後どのように進めていくのか。

【市長】 現在、市には141の建築物があるが、昨年6月に策定した公共施設白書と現在整備中の固定資産台帳をもとに、公共施設の状況や課題について情報を共有し、広く意見を聞いた上で、来年度中には公共施設の更新・統廃合・長寿命化等を集約した公共施設等総合管理計画を策定したいと考えている。また、小中学校の統廃合に関しては、従来から複式学級を導入する状況になれば検討すると発言してきたが、今回、文部科学省が手引を作成したことを受け、昨年設置した総合教育会議の場を活用し、教育委員会と連携を取りながら、今後十分議論を重ねていきたいと考えている。また、本庁舎の耐震に関する躯体調査を実施した結果、技術的な面から耐震化改修が可能であるとの見解が専門業者から示された。今後、財政面や機能性等を総合的に勘案し、耐震化改修するのか、現在地で改築するのかなど、市民の意見も聞きながら、将来的な庁舎のあり方について検討していきたい。

- ◎マイナンバー制度について
- ◎人口減少社会に対応した課題と対策について
- ◎外国との経済交流並びに親善について



白井 中 議員

質問 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に関して、個人番号カードは必ず作らないといけないのか。また、個人番号カードは何に使うことができるのか。

総務部長 個人番号カードは申請に基づいて交付するものであり、取得は義務付けされていない。しかし、個人番号カードがないと、マイナンバーと本人確認を同時に行う手段がないため、複数の確認書類が必要になる。個人番号カードがあれば1枚で済むため、できるだけ取得していただきたい。また、個人番号カードは顔写真が付いたカードであり、身分証明書として使用することができる。

質問 「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」の結果によると、東京都在住の10〜20代は5割近くの方がUターンでの移住を希望しており、50〜60代の男性は5割以上、50〜60代の女性は3割以上が移住を検討したいなどと回答している。地方への新たな人の流れを作るため、受入体制を整備すべきだと考えるが、当局の見解を問う。

企画室次長 意向調査の結果概

要によると、「移住に関する情報が十分でない」、「情報の入手先がわからない」などが困った点として挙げられている。今年度、市のホームページをリニューアルするが、あわせて「移住・交流ポータルサイト」を構築する予定にしている。サイトには住環境等の基本的な情報だけでなく、暮らしや仕事に関する情報など多岐にわたる情報を掲載し、また移住を検討している方が容易に情報入手できるように検索機能を設けることとしている。

質問 11月にベトナム国との青少年交流事業が実施された。現地には本市に來たいという若者が大勢いると聞いているが、今回の交流事業を契機に、ビジネス交流や国際親善、交流人口の拡大や雇用の創出など様々な面で成果が見込まれると思うが、当局の見解を問う。

企画室長 青少年交流事業は、次代を担う若者の相互理解と友好を深める機会であり、このことを契機に様々な分野での交流へと発展していくことを期待している。



中田 正樹 議員

質問 市は多くの施策や事業を実施しているが、できる範囲で、事業に対する費用対効果の予測や事業の成果を数値で検証していけば無駄な事業を無くすことができると思う。当局の見解を問う。

副市長 これまでも行政評価制度や議会による事務事業評価、外部評価委員会による事業検証等を踏まえ、事業の見直しを図ってきた。費用対効果の予測や事業成果の検証は有効な手段のひとつだと思われるので、事業効果を高めるための検証方法や記載内容等について協議・検討していきたい。

質問 アウトレットモールの進出が決定してから2年余り経っているが、観光資源の整備のスピードが遅い。市外の観光客に紹介しようと思っても整備が行き届いていない場所には案内することができない。本市は歴史遺産の宝庫である。アウトレットモールに最も近い桜町JOMONパーク、埴生・石坂地区に点在する古墳・古墳群、北陸歴史古道、埴生八幡宮、勝興寺、前田秀継公と利秀公、蟹谷・埴生地区に点在する数多くの城跡など、1箇所にも多くの観光

客を惹きつけることは難しいかもしれないが、ストーリー性を持たせて点を線で繋いでいくことや観光資源を生かす仕掛けを検討すべきでないか。

産業建設部長 まち全体の歴史をアピールすることについて、例えばメルギューくん・メルモちゃんや木曾義仲の倶利伽羅合戦における「火牛の計」に因んでいること、また桜町遺跡における縄文時代の貴重な発見など、本市には歴史的な遺産が大変多いことから、旬の時期を逃すことなく、ストーリー性を持たせた活用や情報発信にも取り組んでいきたい。

質問 住民税の控除は自由に設定することができないのか。子育て支援策として、年少扶養控除を復活させ、多子世帯には控除額を増額するなど、控除額に累進性を持たせることはできないのか。

副市長 最高裁の判例で示されているとおり、地方税法で規定されている所得控除のほかに新たに所得控除を創設することや控除額を増額すること、また所得控除の適用要件を変更することはできない。

- ◎小矢部市の将来を担う人材育成について
- ◎高齢者の交通事故対策について
- ◎防災体制の整備について
- ◎健康寿命の延伸について



嶋田 幸恵 議員

質問 将来を担う人材の育成は大変重要である。総合戦略を推し進めていく中で、人材をどのように活用していくのか。これは市長の腕にかかっていると思う。人材育成にかける市長の見解を問う。

市長 市民目線に立った行政運営の重要性等を意識啓発するとともに、常に物事の本質を見通すすぐれた知識と判断力により、政策形成能力と実行力を備えた職員を育成していきたいと考えている。職員が本市の課題を十二分に認識し、しっかりと庁内一丸となって取り組んでいきたいと考えている。

質問 先日の交通安全対策協議会幹事会で、本市の人身事故件数や負傷者数が増えていること、特に高齢者による人身事故件数が倍増し、増加率は県内でワーストワンであるとの報告があった。この報告が大変ショックを受けているが、今後どのように対策を講じていくのか。

民生部長 高齢者の交通事故が増えている原因については現在解明に努めているところだが、特徴をみると加齢による身体機能の低下や過信・思

い込みによる運転が事故の原因となっている。今後とも、警察や交通関係団体の協力を得て、官民一体で高齢者の交通事故防止に向けた活動を展開していきたい。

質問 防災士が研修を受け、市民に還元することが大切である。防災士同士あるいは消防団等との情報共有をどのように進めていくのか。

総務部長 防災士の意見交換会を3回開催しているが、その中で防災士資格を取得した仲間や防災士協議会を立ち上げ、ネットワークを築いて活動を行いたいとの意見があった。共助の観点からも重要な取組であると考えており、今春の設立に向けて支援していきたい。

質問 介護保険法の改正により、来年度から介護予防・日常生活支援総合事業が実施される。市の事業となることで介護保険組合の構成市ごとの取組の違いが明白になる。市ではどのように取り組むのか。

民生部長 来年度からは市の総合事業として実施することになっていくので、特に予防事業に力を入れて実施していきたい。

- ◎小矢部市のシティプロモーションについて
- ◎小矢部市の農業について
- ◎地域包括ケアシステムの構築について



山室 秀隆 議員

質問 平成27年は、能越自動車道七尾氷見道路七尾IC、小矢部砺波JCT間の開通、北陸新幹線金沢開業、アートのハウスおやべの開館、アウトレットモールの開業など千載一遇のチャンスを得た年であった。これは終着点ではなく、始発点だと思うが、今後どのようにシティプロモーションを展開していくのか。

企画室次長 このチャンスを生かすには市民と行政とが一丸となった取組が重要であり、市民とともに地域の魅力を創造し、小矢部市をプロモートする必要がある。商工会や観光協会など関係機関と連携を密にして対外的に情報発信するとともに、市民の小矢部市に対する愛着と誇りの醸成を図り、市民一人ひとりが「小矢部市のセールスマン」として市の魅力を発信していきたい。

質問 生産調整を厳格に守る農家に支払われてきた経営所得安定対策は生産調整のインセンティブになっていいたと思う。それが廃止され、また生産調整の割り当ても無くすることとされたため、農家は米を生産するべきか、転作する

べきか、今後不安を感じている。今後、農政はどうなっていくのか。

産業建設部長 米の直接支払交付金は平成30年度から廃止されるが、国は、水田フル活用を実現するため有効活用対策を充実することやコストダウンと所得向上を図るため農地集積の拡充を図ることとしている。また、同年産から生産数量目標の配分は無くなるが、国が策定する需給見通し等を踏まえ、生産者や集荷業者等が中心となり、需要に応じた生産ができるよう一体的に取り組むことになっている。

質問 住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくには、医療・介護・予防・生活支援等が一体提供される地域包括ケアシステムを構築することが必要である。地域での生活支援や予防介護には何が必要になるのか。

民生部長 まずは、互いに支え合う体制づくりが必要である。ひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増加し、家族の力が弱くなっている。身近な地域で、気付いて見守る仕組みづくりを取り組む必要があると考えている。

*用語解説

「シティプロモーション」

…… 地域が持つ様々な魅力をアピールすることにより、観光客の誘客や特産品の販売促進、そして企業誘致による定住人口の増加に取り組み、地域を活性化させようとする活動

- ◎小矢部市人口ビジョンについて
- ◎おやベルネサンス総合戦略について
- ◎地域（むらやまち）づくりについて



加藤 幸雄 議員

質問 人口減少対策にどのように取り組むのか。これまで他自治体と同じことをしていれば問題は無かったのかもしれないが、今後は他自治体を上回る取組か、オリジナルやオンラインワンの取組が求められると思う。見解を問う。

企画室長 金沢市や富山市などの都市や自然豊かな海や山に短時間で行くことができる「おやべ型ライフスタイル」を発信し本市の住み良さをアピールするとともに、UIJターン相談支援体制の強化や定住促進助成制度の継続、アウトレットモールなど市内企業に勤務する従業員の「おやべ市民化」を推進するためワンストップ相談窓口を設置するなど、本市のオリジナルな魅力を発信して定住につなげていきたい。

質問 高齢者の活躍を支える施策は活力ある地域づくりに欠かせないと思う。総合戦略に盛り込まれた生涯活躍のまち形成支援事業とは具体的にどのような事業なのか。

民生部長 地域で支え合う体制を構築していく中で、高齢者自らも担い手となり、生涯活躍できるまちを形成していきたいと考えている。具体的には、来年度から「(仮称)生涯現役コーディネーター」を配置し、高齢者へのきめ細やかな情報提供や積極的な社会参加を促進するボランティアの発掘・育成と組織づくりを支援することにより、高齢者本来の活動力が発揮されるよう取り組んでいきたい。

質問 各自自治体の問題点を共有し、今後のむらやまちのあり方を検討してはどうか。自治体が自らの現状認識から始め、諸課題にはデータを示して客観的な事実として把握し、独自の戦略を策定することが重要である。ポトムアップでの施策づくりが必要ではないか。

副市長 昨年策定した人口ビジョンと総合戦略は、本市の実情や住民アンケートの結果を踏まえ、庁内組織である「おやベルネサンス推進本部」での議論を経て、産学官金労言の各界の方々で構成する「おやベルネサンス市民会議」や議会からの意見も取り入れて、まさにボトムアップにより策定したものである。

市長 安全保障関連法は戦争法とは思っていない。むしろ戦争を抑止するための法律である。この法律で変わった点はない、自衛隊が攻撃を受けている他国軍や文民の警護に必要最小限の武力行使ができるということである。

質問 森林資源の活用を図る上で所有者が不明な山林が多いことが問題だ。地籍調査の前段階にあたる山村境界基本調査を推進すべきではないか。

企画室長 来年度、事前の準備作業となる山林地域における所有者や面積等の特定作業を行い、平成29年度には、国の山村境界基本調査が導入できるよう、調査事業の体制を整えていきたい。



砂田 喜昭 議員

- ◎市長は戦争法廃止をアピールせよ
- ◎山村境界基本調査着手を
- ◎貧困の連鎖を断ち切る取組を
- ◎介護職場の改善に努めよ
- ◎公共施設のあり方について
- ◎石動駅での折り返し運転実現へ働きかけを

質問 平和都市宣言をしている都市の首長として、戦争法をどのように考えているのか。市長はこの法律で何が変えられたかご存じなのか。

市長 安全保障関連法は戦争法とは思っていない。むしろ戦争を抑止するための法律である。この法律で変わった点はない、自衛隊が攻撃を受けている他国軍や文民の警護に必要最小限の武力行使ができるということである。

質問 現在、あいの風とやま鉄道には石動駅まで来ない電車(高岡駅止まり)が12本、石動駅で乗れない電車(高岡駅始発)が9本ある。県西部の一体化を図るためにも、石動駅での折り返し運転の実現を働きかけるべきではないか。

企画室長 折り返し運転の実施は、高岡駅以西の県民の利便性向上や柔軟なダイヤ編成による鉄道利用者の増加が期待できる。引き続き、あいの風とやま鉄道と運営会社の筆頭株主である富山県に対し、必要性やメリットを訴えていきたい。

民生部長 他市町の状況を調査し、子育て支援施策の一環として取り組めるかどうかも含めて研究していきたい。

質問 平成23年に保育所統廃合の答申があり、私たちもアンケート調査を実施したが、大谷校区4保育所の統廃合では、現状のままが47%、大規模が12%、一部統廃合が36%であった。当時市長は「答申は尊重するが丸呑みはしない」と答弁していたが、その考えに変わりはあるか。

民生部長 当然、保護者や地域のいろいろな方々と話し合っただけで決めるのではなく、しっかりと話し合っていくことになる。

※その他、次の質問がありました。
「介護職場の改善に努めよ」

◎クロスランドおやべの未来像について
◎ポスターでの小矢部市の魅力発信について



なかの るみこ
中野留美子
議員

質問 アウトレットモールが開業し、観光客がクロスランドおやべを訪れる機会が増えている。クロスランドおやべでの満足度が本市のイメージ全体に直結する可能性も高くなっていると思う。クロスランドおやべ来場者数の推移はどうなっているか。また、来場者の満足度を高める工夫はどのような行っているのか。

教育委員会 長 クロスランドおやべの来場者数は、イベントの入場者数とタワーやミニ鉄道等の利用者数を合わせると、毎年おおむね15万人程度で推移している。アウトレットモール開業後の来場者数は過去の同時期と比べると、タワーでは24%、おもしろ自転車では7%の増加となっており、メインホールの利用料金収入は昨年同時期と比べると約15%の増収となっている。今後とも笑顔での接客を心がけ、意見箱に寄せられた利用者の声も参考にしながら今後の施設利用やイベント企画につなげていきたい。また、今年度からクロスランドクラブの会員特典を拡充し、会員数の増加を図るとともに、会員を対象に、イベントに関するアン

ケート調査を実施する予定にしている。今後とも多様な取組を行い、親しまれ楽しく魅力ある施設となるよう工夫を重ねていきたい。

質問 まちに賑わいや活気を取り戻すため、ポスターの力で本市の魅力発信してはどうか。市が制作したポスターも魅力的だが、商工会等が制作した市民の顔が見えるポスターは印象的である。市内各所にポスターを掲示することで、まちおこしに対する関心や本市への愛着が高まると思う。市民や企業参加型のポスター展を企画してはどうか。当局の見解を問う。

産業建設部長 民間や一般から公募したポスター展の企画については、道の駅メルヘンおやべやクロスランドおやべ等への誘客策としては非常に効果的な施策であると思うが、しっかりとしたコンセプトがないと上手くいかないと思う。現在のところ開催する予定はないが、小矢部市の魅力を発信する手段のひとつとしては興味深い提案だと思つので、今後の参考にしていきたい。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。傍聴席は43名分あります。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話・口頭による申し込みはできません。

平成27年は、延べ47名の方が本会議を傍聴されました。



小矢部市議場

録画映像インターネット配信

より多くの皆さんに、定例会や臨時会の本会議をご覧いただけるよう、小矢部市議会のホームページで本会議の録画映像を配信しています。

録画映像は、本会議開催日のおおむね1週間後から配信されています。小矢部市議会のホームページの「議会中継」をクリックして、ご覧ください。(議会開催年や発言者を選択してご覧いただけます。)



小矢部市議会 議会中継ページ
<http://www.gikai-web.com/dvl-oyabe/2.html>

お知らせ 議会報告会を開催しました

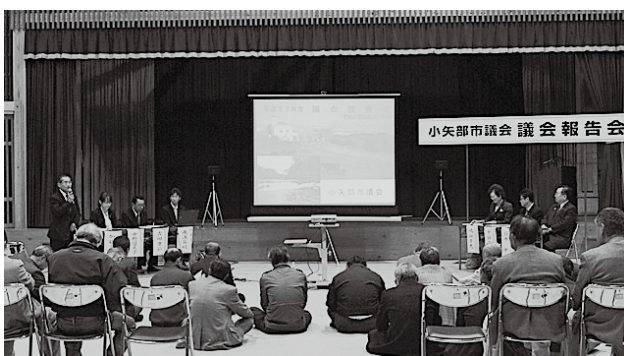
10月22日（木）と23日（金）の2日間、市内4会場で議会報告会を開催しました。ご多用のところご来場いただきました121名の皆様方には心から御礼申し上げます。第1部では常任委員会や特別委員会の報告を、第2部では参加された皆さんと意見交換を行いました。



総合会館



荒川公民館



北盤谷スポーツセンター



津沢コミュニティプラザ

主な意見交換

- 意見** 議員定数削減の協議はしているのですか。
- 回答** 議員の質を上げることで皆さんの期待に応えていきたいと思っていますし、議員が何人であれば適正なのか、議会内部でも検討が必要だと思っています。議会報告会をはじめ、いろいろな機会に皆さんの意見を聞きながら、検討を進めていかないといけないと思っています。

- 意見** 女性が市政に関心を持つような取組が必要ではないですか。託児を設けたり、赤ちゃんの同伴も可能にすることで、議会のイメージが良くなると思います。
- 回答** 託児の設置については現時点では検討していません。しかし、市議会は乳幼児を連れての議会傍聴を禁止していませんので、子ども連れでの議会傍聴も可能です。多くの皆さんに議会傍聴にお越しいただきたいと思っています。

上記のほか、政務活動費や行政視察、駅周辺整備などについてご意見をいただき、広い分野にわたり議論を深めました。また、当日回収したアンケートにおいても数多くのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後の市政運営や議会運営、次回の議会報告会の参考にいたします。

今後とも皆様方との交流を通じて、議会の機能をさらに高めてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いたします。

※当日回収したアンケートの集計結果や報告書は、小矢部市議会のホームページに掲載しています。

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

11月10日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・男性職員か女性職員かを問わず、育児休業を取得しやすい環境を整備すべきでないか。複数の職員が育児休業を取得した場合でも職務に支障が出ないように、定員管理の中で弾力的な対応ができないか検討を進めるべきではないか。

・定住促進（家賃助成）について、外国人の場合には永住権を有していることが助成の要件になっている。この要件を緩和すべきでないか。

・市が把握している「危険空き家」と国の空き家等対策の推進に関する特別措置法の「特定空き家」では基準が違うのか。「危険空き家」は46件ということだが、「特定空き家」は何件あるのか報告してほしい。

・マイナンバー制度は、プライバシーが侵害されるということや情報漏えいの危険性があるということが危惧されている。マイナンバーにかかわる各種運用について、詳細を調査し報告してほしい。

産業建設常任委員会

11月5日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎買い物環境に関するアンケート調査の結果について

昨年8月に高齢者の消費行動や買い物ニーズを把握するため実施したアンケート調査の結果について報告がありました。

◎創業支援事業計画の認定について

本市と民間事業者（商工会・市内金融機関・日本政策金融公庫）が連携して創業支援を行う取組（創業支援事業計画）が国に認定されたとの報告がありました。

◎富山観光案内所（とやま旅ナビ@おやべ）アンケート集計結果について

昨年9月のシルバークロウイク中に三井アウトレットパーク北陸小矢部の富山観光案内所で実施した来場者アンケートの集計結果について報告がありました。

◎除雪計画について

冬期間（3月末まで）における道路除雪実施計画の策定について報告がありました。

民生文教常任委員会

11月6日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎こども医療費の助成に関する現物給付対応の医療機関について

今年1月から、富山県済生会高岡病院（高岡市二塚387番地1）においても現物給付*により医療を受けることができるようになるとの報告がありました。

*現物給付：福祉医療費請求書を病院窓口で提出することにより保険診療分の医療費が無料になる助成方法

◎市立幼稚園及び保育所統廃合・民営化等推進委員会中間答申の取扱いについて

市立幼稚園及び保育所統廃合・民営化等推進委員会から提出のあった中間答申（保育所民営化・石動幼稚園のあり方・保育サービスの種類と量）の取扱いについて報告がありました。

◎ベトナム国青少年交流事業について

農業を学ぶ学生の国際的な学習機会の創出とあわせて、本市とベトナム国との交流を図るため、11月16日から19日まで、青少年派遣団をベトナム国に派遣し、青少年交流事業を実施すると報告がありました。

駅周辺整備特別委員会

10月22日、11月9日、11月13日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎石動駅周辺整備の各基本設計に係る中間報告等について

駅前広場、駅施設、駅施設と合築する図書館に係る基本設計状況について報告がありました。

駅周辺整備特別委員会では、駅と図書館を合築することによる問題（駅前広場が狭くなる問題、図書館駐車場の高さや外観が不統一な問題など）を指摘し、協議を重ねてきました。引き続き議会との連絡を密にすることなどを当局に申し入れ、駅と図書館を合築する案を了承しました。

人口対策等特別委員会

11月20日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成27年4月から10月までの人口動態について

昨年4月から10月までの人口動態（自然動態・社会動態）について報告がありました。

特別委員会行政視察報告

駅周辺整備特別委員会

【日程】 平成27年11月26日～27日

【視察先】 福井県敦賀市
滋賀県彦根市・近江八幡市
石川県白山市

【委員長】 ◎尾山 喜次 ○吉田 康弘
中野留美子 義浦 英昭
藤本 雅明 福島 正力
中西 正史 砂田 喜昭

●敦賀駅周辺整備事業について
敦賀市は、JR西日本と粘り強く協議を行うとともに、各分野の専門家等から様々な知見を得ながら駅交流施設オパールパークと駅前広場を整備してまいりました。整備にあたっては、市の負担が大きくなりやすい国の交付金や市の基金を活用して整備してまいりました。



敦賀市にて

●稲枝駅周辺整備事業について
彦根市では、昨年1月から稲枝駅の自由通路・橋上駅舎の本体工事を進めてまいりました。基本構想・基本計画・基本

設計を策定した後、JR西日本との協議には2年の月日を要したとの説明がありました。

●現地調査（稲枝駅・篠原駅・敦賀駅・美川駅）
JR稲枝駅（彦根市）、JR篠原駅（近江八幡市）、JR敦賀駅（敦賀市）、JR美川駅（白山市）をそれぞれ現地調査しました。旧稲枝駅と旧篠原駅は築後90年以上経過しており、新駅の整備は駅利用者の念願であったとのことでした。また、JR敦賀駅交流施設には多目的室や観光案内所等が、JR美川駅には誰もが利用できるカフェやギャラリー等が整備され、駅舎周辺に賑わいが生まれてまいりました。



JR稲枝駅にて
（自由通路・橋上駅舎工事現場）



JR美川駅にて

人口対策等特別委員会

【日程】 平成27年11月17日～18日

【視察先】 東京都内
埼玉県飯能市・春日部市

【委員長】 ◎沼田 信良 ○中田 正樹
山室 秀隆 加藤 幸雄
白井 中 嶋田 幸恵
宮西 佐作

●地方創生に基づく具体的な施策について
東京都内にて、まち・ひと・しごと創生本部事務局や厚生労働省の担当者から説明を受けました。人口減少は「静かな有事」という認識のもと、雇用・定住・地域づくりにはスピード感を持って取り組む必要があると説明がありました。また、国は人材の都市部集中を緩和する施策に



東京都内にて

取り組むが、地方は地方版総合戦略を着実に推進してほしいとの話がありました。

●シティプロモーション推進事業について
飯能市は、平成25年度にシティプロモーション推進方針を策定し、吉本興業（株）とタイアップしたイベント開催や東京都庁でPRを行うなど、飯能市の魅力を売り込む取組を戦略的に進めてまいりました。



飯能市にて



●シティセールス戦略プランについて
春日部市は、平成25年度に「ホッとする住みごこち+1」を合言葉としたシティセールス戦略プランを策定してまいりました。また、クレヨンしんちゃんを「子育て応援キャラクター」や「まちの案内人」として活用し、まちへの愛着を醸成するとともに、春日部市の魅力を発信する取組を進めてまいりました。

◎委員長 ○副委員長

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会
の審査の過程において、市当局に対し、
次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、北陸新幹線開通やアウト
レットモール開業による交流人口の
拡大が見られるが、市の活性化に結
びついているとは言いがたい状況にあ
る。アウトレットモール来場者をま
ちなかに誘導し、市街地の活性化に
しつかりと取り組むこと。

第二に、公共施設の中には経年劣
化している施設も多く、更には、市
民生活の変化により、使い勝手が悪
くなっている。特に、トイレの洋式
化は高齢者や子どもたちには不可欠
となっている。公共施設等総合管理
計画を早期に策定し、施設の利便性
の向上に努めること。また、公園等
に設置されている遊具に、故障等の
ため使用禁止となっているものが散
見され、景観も損ねている。速やか
に修繕又は撤去し、市民に親しまれ
る公園とすること。

第三に、下水道事業については、
利用者である市民に対して、将来大
きな負担となる可能性があることや

人口減少・高齢化等により今後の下
水道の利用需要も変化していくこと
が見込まれることから、時代に即し
た効率的な事業計画の見直しの検討、
対策を図る一方、下水道接続率を向
上させ、下水道事業特別会計の安定
化を図ること。

第四に、議会や各委員会での協議
の経過や結果について、職員一人ひ
とりが認識し、理解するように研修等
の仕組みを作るほか、接遇研修結果
が体現されるよう一層の充実を図る
こと。

総務常任委員会

一点目は、マイナンバー制度につ
いて、「行政の効率化」、「国民の利便
性の向上」、「公平・公正な社会の実現」
というメリットはあるが、行政は条
例で定めた事務以外での利用をせず、
情報セキュリティを強化するととも
に、プライバシーの保護や情報漏え
いには細心の注意を払って慎重に進
め、マイナンバーを保管する事業所
へも情報の安全管理に関する注意喚
起を促すこと。

二点目は、災害時の避難場所につ
いて、災害の種類ごとに緊急的に
避難できる「指定緊急避難場所」と、
災害発生時に一定期間避難できる

「指定避難所」に区分して指定した
が、速やかに避難できるように位置
も含めて市民に周知し、災害時には、
避難に適した場所を知らせる情報伝
達手段も確立すること。

日中に、市内事業所から避難する
事態も想定されるため、事業所への
周知を徹底するとともに、指定場所
となりうる民間の建物等についても
調査を行い、災害時協力協定を進め
ること。

産業建設常任委員会

一点目は、都市計画マスタープラ
ンについて、平成45年度（目標年
次）のまちの姿を明確にし、その実
現への道筋を示すため、17年ぶりに
策定したとの報告があった。人口減
少や少子高齢化等の社会情勢も考慮
しながら、マスタープランを具現化
するため、着実に事業を推進するこ
と。

二点目は、有害鳥獣（イノシシ）
被害対策について、イノシシの捕獲
頭数は昨年同期の3倍を超え、今後
さらに増えることが予想されている。
引き続き、農作物被害を防止するた
めの電気柵や捕獲用檻の設置に取り
組むとともに、農道、用水路、ため
池などの農業用施設被害や人的被害

の発生も懸念されることから、人里
への出没を防ぐための新たな対策に
ついても検討を始めること。

三点目は、道路除雪について、本
格的な冬の到来を前に、今一度、消
雪施設等の確認や補修を行うととも
に、快適な市民生活を確保するため、
万全の体制をもって除雪作業に臨む
こと。

民生文教常任委員会

一点目は、駅舎合築となる新図書
館の整備について、老若男女を問
わずすべての図書館来館者が快適に
学び、過ごせるような場にあること
はもちろん、駅利用者が気軽に立ち
寄れるよう十分配慮すること。

二点目は、公立保育所の幼保連携
型認定こども園への移行に際して、
入所している子どもたちが混乱した
り、不安定になつたりしないように
細心の注意を払うこと。また、保護
者や関係者だけでなく、地域の
声も十分把握し尊重すること。今後、
移行を検討する保育所についても、
同様とすること。

三点目は、公共施設の利用料金に
ついて、施設の中には、気軽に広く
利用してもらえるように非常に廉価
な利用料金が設定されているものが

平成27年度 議長交際費支出状況

平成27年4月～平成27年11月（単位：円）

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	12	157,000
① 御祝・寸志	4	80,000
② 激 励 金	5	56,000
③ 香典・供物	3	21,000
2 協 賛 費	15	76,942
3 会費・懇談会費	22	166,000
4 そ の 他	18	171,700
合 計	47	571,642
平成27年度予算額		1,400,000
執 行 率		40.83%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

ある。しかしながら、施設の維持管理に係る経費や市の財政状況を鑑みれば、受益者負担の観点からも、利用者によって一定程度の負担を求め、必要であり、施設利用料金の見直しについて、早急に協議・検討すること。

四点目は、高齢者の交通安全対策について、小矢部市においては、昨年度に比べ、件数、負傷者数ともに増加し、特に高齢者による人身事故件数は昨年同期の2倍に達するなど、極めて深刻な状況にある。今までの関係機関の取組に加え、更なる実効性のある対応を市民と一丸となって早急に推進すること。

市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(平成27年9月26日～12月3日)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視 察 内 容
		議員	随 行	
27. 10. 20	東京都目黒区議会 (生活福祉委員会)	9	1	・認知症あんしんネット（小矢部市認知症地域支援体制構築等推進事業）について
10. 21	福島県田村市議会 (総務文教常任委員会)	7	2	・おやべ型1%まちづくり事業について ・空き家・空き地バンク事業について
11. 6	群馬県前橋市議会 (会派)	6	-	・道の駅メルヘンおやべについて ・アウトレットモール誘致とオープンまでの概要について
11. 12	京都府福知山市議会 (市民地域委員会)	6	1	・おやべ型1%まちづくり事業について
11. 13	岐阜県坂祝町議会 (全議員)	10	2	・女性消防団活動について
11. 19	岩手県盛岡市議会 (会派)	4	-	・認知症地域支援体制構築等推進事業について

平成27年は全国各地から議員131人と随員19人が本市を訪れ、行政視察を実施されました。

3月定例会の日程(予定)

4日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

7日(月) 議案調査日

8日(火) 議案調査日

9日(水) 議案調査日

10日(木) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

11日(金) 10時 本会議(一般質問)

14日(月) 10時 予算特別委員会

15日(火) 10時 予算特別委員会

16日(水) 10時 予算特別委員会

17日(木) 10時 人口対策等特別委員会

18日(金) 14時 民生文教常任委員会

22日(火) 10時 総務常任委員会

23日(水) 14時 駅周辺整備特別委員会

24日(木) 10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※紺色の文字はケーブルテレビ放送予定、録画映像インターネット配信予定です。

会務報告

平成 27 年 9 月 26 日から 12 月 3 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
27. 9.28	小矢部市議会・津幡町議会親善交流会	・スポーツ交流	クロスランドおやべ
10. 2	一般国道8号整備促進小矢部市・津幡町合同提言活動	・富山河川国道事務所	富山市
10. 6~ 8	決算特別委員会	・付託議案審査 認定第1号~認定第8号	第二委員会室
10. 7~ 8	一般国道8号整備促進小矢部市・津幡町合同提言活動	・北陸地方整備局 ・国土交通省道路局、県選出国會議員等	新潟市 東京都
	副議長就任あいさつ回り	・県選出国會議員等 ・関係企業	東京都
10. 9	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議會議員連盟定期総会	・議事 平成26年度事業報告、収支決算、平成27年度事業計画、収支予算、役員選任について ・記念講演	富山市
10.13~17	日中友好富山県地方議員連盟訪中	・遼寧省政府 ・青島市人民政府、日本国青島総領事館 ・富山県大連事務所等	瀋陽市 青島市 大連市
10.20	高岡地区広域圏事務組合議会定例会	・議事 平成27年度高岡地区広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）、平成26年度決算について等	高岡市
10.22	全員協議会	・行政委員会等会務報告 ・「小矢部市人口ビジョン（案）」及び「おやべルネサンス総合戦略（案）」に対する提出意見への対応状況について他3件報告	第一委員会室
	駅周辺整備特別委員会	・石動駅周辺整備の各基本設計に係る中間報告等について報告	第二委員会室
10.22~23	議会報告会	・平成27年9月定例会常任・特別委員会の審査報告等	総合会館 荒川公民館 津沢コミュニティプラザ 北蟹谷スポーツセンター
10.23	議会だより編集委員会	・議会だよりNo179について	第二委員会室
10.29~30	北信越市議会事務局協議会定例会	・議事 役員改選等について ・講演 ・事例研修 ・意見交換会 ・視察研修	総合保健福祉センター 宮島温泉滝乃荘 クロスランドおやべ他
11. 2	富山県市議会議長会議員研修会	・講演	富山市
11. 5	産業建設常任委員会	・小矢部市の買い物環境に関するアンケート調査の結果について他3件報告	第二委員会室
11. 6	民生文教常任委員会	・小矢部市こども医療費の助成に関する現物給付対応の医療機関について他2件報告	第二委員会室
11. 9	駅周辺整備特別委員会	・新図書館に係る駐車場計画（案）等について報告	第二委員会室
11.10	総務常任委員会	・報告案件なし	第二委員会室
11.10~12	立山の塔慰霊行事	・「立山の塔」慰霊祭 ・平和の礎・平和記念資料館等巡拝	沖縄県糸満市
11.11	砺波地域消防組合議会全員協議会	・（仮称）南砺消防署東分署及び小矢部消防署津沢出張所について	砺波市
11.13	駅周辺整備特別委員会	・石動駅・新図書館整備について	第二委員会室
11.16~19	小矢部市ベトナム国青少年交流事業	・ホドック大学 ・タインホア省 ・エビ養殖場 ・ハイテク農業農場等	タインホア ホアンホア
11.17~18	人口対策等特別委員会行政視察	・地方創生に基づく具体的な施策について ・シティプロモーション推進事業について ・シティセールス戦略プランについて	東京都 埼玉県飯能市 埼玉県春日部市
11.19	おやべ・たかおかビジネス交流交歓会 in 東京	・第1部 セミナー ・第2部 交流交歓会	東京都
11.20	人口対策等特別委員会	・平成27年4月から10月までの人口動態について ・行政視察報告	第二委員会室
11.24	全員協議会	・あいの風とやま鉄道石動駅自動券売機の増設について他3件報告	第一委員会室
	富山県西部市議会議長会正副議長研修会	・講演 ・視察 高岡市急患医療センター等	高岡市
11.25	議会運営委員会	・12月定例会提出議案について等	第二委員会室
11.26~27	駅周辺整備特別委員会行政視察	・敦賀駅周辺整備事業について ・稲枝駅周辺整備事業について ・現地視察（JR敦賀駅、稲枝駅、篠原駅、美川駅）	福井県敦賀市 滋賀県彦根市 JR各駅
12. 3	砺波地方介護保険組合議會議員懇談会	・新総合事業（案）について ・小矢部市内介護施設視察研修	砺波市 小矢部市

編集後記

昨年、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、公布されました。選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法は、今夏の参議院議員通常選挙から適用される見通しです。

人口減少と超高齢化が同時進行する局面にあって、これまでに作り上げられた成熟した社会をどのように維持発展させていくのか。簡単な問題ではないからこそ、高齢者も若者も、全ての世代の方々が社会の問題を自分たちの問題として考え、危機意識を同じくして知恵を絞り、行動することが求められています。

市議会では、今後とも市民の皆さんと情報を共有し、課題や論点を明らかにしながら真摯に執行機関と議論を重ねて参ります。市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

今回の「議会だより」は、平成28年5月の予定です。（議会だより編集委員一同）